

西尾更生保護

第74号

発行者
西尾保護区保護司会
事務局
西尾市寄住町下田22
西尾市役所福祉課内
☎(0563)56-2111(代)
(題字 鳥居伸子)



若一神社の力石 (西尾市一色赤羽) 境内の力石5個は、江戸時代に赤羽出身の高須新助広則が怪力を将軍に披露して功を上げたことを記念して奉納したもの



「地域コミュニティの力」

西尾市長

中村 健

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から保護司の皆様には、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について、日夜ご尽力をいただいておりますことに、心から感謝と敬意を表します。

さて、犯罪の発生には「環境の変化による規範意識の低下」が要因の一つと言われています。新型コロナウイルスのまん延を一例とする急激な社会経済環境の変化に伴うストレスの高まりを背景に、対人関係におけるコミュニケーションの不足とともに周囲に対する関心が薄れていくことで、思いやりの気持ちや規範意識の低下を招いていると考えられます。

そのような状況の中で、暮らしに根付いた身近な地域コミュニティの力がいっそう求められています。子どもをねらう犯罪や虐待、高齢者の孤独死などの中には、地域の支えあいがあれば防げるものが多くあります。罪を犯してしまい、そこから立ち直ろうとする人を温かく受け入れられるのも地域コミュニティです。頼る術がなく孤立しそうな人たちにとって、人と人とのつながりの中に居ること、地域に居場所があることは、とても大切なことではないでしょうか。地域の中で安心して暮らす、心豊かに生きていくことが、犯罪の大きな歯止めになることと思います。その地域コミュニティを活性化させるためには、行政だけの力ではなく、地域に住む全ての方々が主役となって「我がまちづくり」に関わっていく必要があります。折からの合併十周年を迎え、「チーム西尾市」としてさらなる融和が進む気運の中、行政としましても地域コミュニティの育成のため、できる限りの支援をいたします。安全安心な地域づくりのため、今後も皆様方のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

一年を振り返って



西尾保護区保護司会
会長 鈴木 孫七

あけましておめでとうございませう。新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響もあって、定例会の中止を始め各種会議、行事等も中止せざるを得なかった事は本当に残念に思っております。

保護司活動が制約を受ける中にあって、社明運動の新しい形として、昨年九月に西尾市内の幼稚園・保育園の40園に絵本一〇冊、子どもルールブック一二冊を寄贈させて頂きました。

また、広報誌、研修活動においても再三の延期、打ち合わせ会場の確保等に苦慮されながらも実施実行にこぎつけて頂きました。それぞれのご苦勞に頭の下がる思いであります。

年度当初に「サポートセンター運営の充実」と「再犯防止対策の充実」を掲げましたが、コロナ禍を理由にほとんど進展のないのが現状であります。

本年も保護司活動に邁進してまいりますので、皆様のより一層のご支援ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

本年度の西尾市更生保護女性会の取組



西尾市更生保護女性会
会長 大竹 照代

新しい年を寿ぎ謹んで、ご挨拶申し上げます。保護司の先生方には、いろいろご指導をいただき、お世話になっております。新型コロナウイルス感染症も、昨年十月末より、感染者も減少に転じ、ほつとしております。

今年、本市で、西三河ブロック更生保護女性会研修会が開催されます。開催市として、四月以降準備をしなければと思っております。会長として、大変責任が重く肩のしかかっております。会員の皆様と協力して、お迎えしたいと思っております。西三河の更生保護女性会の皆様の意見をお聞きして、多くを学ぶ場になればと願っております。また、この機会に、西尾市の魅力をアピールしたいと思っております。

更生保護女性会は、奉仕団体です。奉仕の精神で活動し、コロナ禍ではありますが、各種の行事を推進していかねばなりません。よりよい西尾市更生保護女性会になるように活動したいと念じております。

年頭にあたって



西尾市BBS会
会長 築瀬 貴央

新年あけましておめでとうございませう。

一昨年から新型コロナウイルスが猛威をふるっております。この原稿を書いている時点では、小原状態となっておりますが、新年を迎える頃は、どのような状態となっているでしょうか。

人と接するボランティアの活動は、ほとんど活動をすることができず、BBS会としては、かろうじて、非行防止の啓発活動が少しながらできているという状態です。

愛知県BBS連盟は、瀬戸少年院にボランティアとして入っておりますが、現在は、まったく活動ができおりません。

新型コロナウイルスの終息が待たれるところです。



研修部会

第二期地域別定例研修
保護司適任者確保のための
取組等について

保護観察官 鶴飼 良亜

令和三年三月に「愛知県再犯防止推進計画」が策定され、民間協力者の活動の推進、広報・啓発活動の推進等のための取り組みがなされてきました。

しかし、再犯率は依然と高いものがあります。これは、本人の問題だけでなく、地域社会全体の問題でもあります。また、地域社会の安全・安心や再犯防止を推進する上で必要不可欠な保護司の高齢化並び



になり手不足が課題として指摘されております。

現在、市内の保護司は、七十歳以上が35%で、今後十年間で約五割の保護司は退任予定です。名古屋保護観察所管内でも同様との話がありました。

質疑では、保護司就任時の年齢推薦者の調査基準や保護司活動をオープンにしてイメージアップをすることも必要ではないかと提案がありました。

(研修部会 杉浦 雅人)

研修部会

自主研修会

『0チャレンジ』

年一回、地区担当保護司が中学校に出向いて、情報交換を行っています。その会合で、中学生の自転車による事故が多発していることがわかりました。

そこで、十一月一日(月)に、西尾警察署・合原俊信交通課長と坂口直人生活安全課長を講師として「青少年における自転車事故の現状と防犯意識の醸成」をテーマに講話をしていただきました。



合原氏は、DVDの視聴後、自転車事故の被害者にもならないために、スマホを操作したり音楽を聞いたりする

ながら運転をしない正しい自転車の乗り方や交通ルールやマナーを順守することの大切さを強調されました。

坂口氏は、自転車の盗難が多発している現状を話されました。しかし、その多くは、施錠をしない



西尾市民の習慣も起因していると思われ、指摘されました。自転車盗難防止のために警察署の対策

として「自転車盗りチャレンジ」を四月から実施しており、自転車の盗難がない中学校には賞状と記念品を授与する取り組みをしています。



保護司も定期的に、市内を巡視していますが、自転車盗難防止や事故に合わないように、丁寧にこまめに声をかけることを確認していました。

(研修部会 神谷 知幸)

社明部会

絵本で家庭教育の充実を支援

本年度は、昨年同様にコロナウイルス感染防止のため、「子育てを考える集い」は、中止となりました。そのため、社明部会では、市内全園に二種類の絵本を寄贈して、家庭教育の充実に役立てていただくように企画しました。

部会では、絵本の選定からはじめました。話し合いで、『コウくんときいろいはね』と『よくできました!』を選定しました。『コウくんときいろいはね』は、全国の社明運動で活用されている絵本で、年長児から小学校低学年用に作成されています。



『よくできました!』は、躰の基本が分かりやすく紹介されている

本です。絵本は、読み聞かせに利用したり、保護者に貸出をしていただきたいと思えます。また、保護者向けに「あなたは まもれているかな?」の啓発資料も作成していました。ご家庭で子育ての参考にしていただければ幸いです。



九月には、社明部員で、配布の準備を行いました。今回寄贈しました絵本が活用され、子どもたちの健やかな成長の一助となるよう願っております。来年度は、従来の方法で、「子育てを考える予定集い」を実施する予定でおります。ご支援ご協力をよろしく願っています。

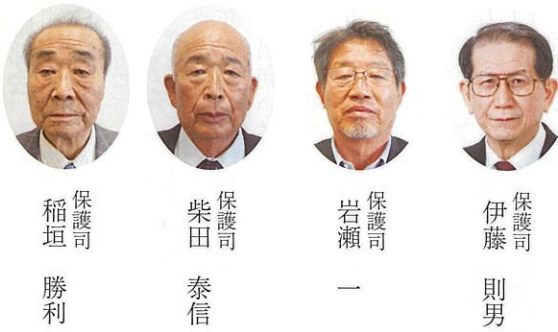
(社明部会 犬塚 栄子)

愛知県更生保護大会 に参加して

と き 十一月十九日(金)
と ころ あま市甚目寺公民館
新型コロナウイルス感染症の中、例年の三分の一以下の三二〇名余で開催されました。顕彰者披露で、本保護区からは、法務大臣表彰をはじめ二十一名、更生保護女性会から十三名の方が受賞されました。

令和三年度 受彰者紹介

法務大臣表彰



保護司 伊藤 則男
保護司 岩瀬 一
保護司 柴田 泰信
保護司 稲垣 勝利

また、本年三月に「愛知県再犯防止推進計画」が策定され、県内の地方公共団体でも、地方再犯防止推進計画の策定が進められつつあることなどが、大会趣旨に盛り込まれました。
最後に、今後の更生保護制度の充実発展を願って万歳三唱し、閉会となりました。
(副会長 有馬 健治)

全国保護司連盟理事長表彰



保護司 岡田 光祥
(家族功労) 杉浦シズ子
(杉浦義信保護司の妻)
委員長表彰 杉浦しず江
保護司 杉浦 恵一
保護司 小木曾和夫

中部地方保護司連盟会長表彰



保護司 成瀬隆比古
保護司 山崎 正信
保護司 外山 正志
(家族功労) 鈴木喜代子
(鈴木孫七保護司の家族)
名古屋保護観察所長感謝状 (家族功労) 柴田久美子
(柴田泰信保護司の家族)
(家族功労) 稲垣由美子
(稲垣勝利保護司の家族)

愛知県保護司会連合会長表彰



(協力雇用主) 岡田 廣行
保護司 岩瀬 和道
保護司 神谷 知幸



保護司 杉浦 雅人



保護司 杉山 邦雄



保護司 松井 仁志

日本更生保護女性連盟会長表彰



更生保護女性会 神谷美代子

中部地方更生保護女性連盟
会長表彰



更生保護女性会 大竹 照代

名古屋保護観察所長感謝状



更生保護女性会 竹田真知子



更生保護女性会 萬浪 和子

愛知県更生保護女性連盟
会長表彰



更生保護女性会 岩瀬十三子



更生保護女性会 大須賀幸子



更生保護女性会 寺田 弘子

愛知県更生保護女性連盟
会長感謝状

更生保護女性会
香村 君子 渡辺 正子
近藤いくえ 山崎あさの
小田井和子 外狩紗絵子

退任保護司紹介



楠村町 榎野 晴美
(在職22年)



寺部町 柴田 泰信
(在職20年)

新任保護司紹介



楠村町 宮地 弘子



寺部町 高須 寛人